



白銀の立山

雪山シーズンin!



立山(雄山、浄土山) 11/17~19

12月の定例集会は

12月6日(火) 19:00~

我孫子北近隣センター並木本館

(スリッパ忘れずに!)

☆2023年の山行希望調査票もお持ちください。(別紙1にあります)

定例山行計画

ご案内



定例山行計画		木曾駒ヶ岳 (2,956m)		リーダー:小林隆 グレード:2C
月 日	令和4年12月25日(日)~12月26日(月) 1泊2日(旅館泊)			
山 域	中央アルプス	地形図(又は日の出日の入り)	1/25,000	地理院地図
目 的	雪山登山			
費 用	約30,000円	交通機関	レンタカー(あるいはマイカー)	
行 程	1日目	我孫子5:30→駒ヶ岳ロープウェイしらび平駅10:30→千畳敷駅11:00⇒ホテル千畳敷(泊) (歩行距離0km、歩行時間0hrs、累積標高差上り0m・下り0m)		
	2日目	ホテル千畳敷⇒乗越浄土⇒中岳⇒頂上山荘⇒木曾駒ヶ岳⇒中岳⇒乗越浄土⇒ホテル千畳敷⇒千畳敷駅→しらび平駅→我孫子 (歩行距離3.9km、歩行時間3.5時間、累積標高差上り480m・下り495m)		
個人装備	冬山標準装備、アイゼン、ピッケル、ヘルメット、ハーネス、スリング、カラビナ 雪崩遭難対策に雪崩トランシーバー、プローブ、ショベルを携行することを推奨します(各自レンタル)。			
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> 千畳敷カールから木曾駒ヶ岳を往復します。 *八丁坂上部の急斜面は凍結すると難度が上がりますので、確実なアイゼン・ピッケルワークが必要です。1日目に雪上訓練を実施する予定です。 ホテル千畳敷は厨房施設改修中で素泊まりになるため、2日分の行動食・昼食に加えて各自1日目夕食と2日目朝食を持参します。 参加者が1~2名で十分な雪山経験がある場合は宝剣岳登頂も目指します。その場合は新規計画書をもって再度検討をお願いする予定です。 <p><連絡先> 駒ヶ根警察署 TEL 0265-83-0110 ホテル千畳敷 TEL 0265-83-5201</p>			

定例山行計画		クリーンハイク：手賀の丘周辺（第16回）		リーダー：小野泰子 グレード：1A
月 日	令和5年1月8日（日）日帰り			
山 域	我孫子、柏	地形図	1/25000 取手	
目 的	手賀の丘周辺に親しみ、美化に協力し、環境に関心を持つ。			
費 用	0円	交通機関	集合場所から解散まで徒歩。	
行 程	手賀の丘公園 どんぐりの家前集合 9:00⇒柳戸：やなど方面里山散策（ゴミ拾い）⇒弘誓院⇒鐘楼⇒里山歩き、ゴミ拾い⇒公園内キャンプ場：昼食 ⇒里山歩き⇒キャンプ場入り口（回収仕分け） (歩行時間約4時間 / 解散予定 14:00)			
個人装備	火ばさみ、拾ったゴミを入れるレジ袋 軍手			
メ モ	<ol style="list-style-type: none"> 雨天中止。前日12時までにメールで連絡。 例年11月下旬ですが、今年は1月8日（日）に実施予定。 どんぐり散歩のコースと一部重なります。 道中、自然観察も少し取り入れる予定。 昼食、寒さ対応、コロナ対策、お願いします。 昼食を購入できる店舗は近くにはありません。 			

定例山行計画		伊予ヶ岳～富山 (336.6m～349m)		担当：小島徹 グレード：1B
月 日	令和5年1月14日（土）日帰り			
山 域	房総	地形図	1/25000 金東、保田	
目 的	ミニ鋭鋒と「八犬伝」ゆかりの名山を訪れる。			
費 用	約5,000円	交通機関	JR, タクシー	
行 程	我孫子 6:35→新松戸 6:49/6:55→西船橋 7:10/13（総武線）→千葉 7:37/45（内房線）→上総湊 8:58/9:00→岩井 9:22/30（タクシー）→天神郷バス停 9:50/10:00⇒伊予ヶ岳 11:05/11:30（休憩）⇒車道出合 12:10⇒富山 13:30⇒福満寺 14:20⇒岩井 15:20/15:49→君津 16:29/16:35→船橋 17:36/41（総武線）→西船橋 17:44/53（JR）→新松戸 18:09/15→我孫子 18:29 (歩行時間は約5時間)			
個人装備	日帰り装備一式			
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> 集合／解散は岩井駅とします。 岩井駅から伊予ヶ岳へはタクシーを利用します。 伊予ヶ岳にはロープ伝いの急斜面があり、慎重な行動が必要です。 天気が良ければ、伊予ヶ岳、富山の山頂から周囲の里山や東京湾越しに富士山が望めます。 富山から伏姫籠穴方面へは通行禁止のため、下山には使用できません。 雨天時は中止とします。山行中止の場合は前日午前中にメールで連絡します。 			

準定例山行計画		三浦海岸から城ヶ島へ		リーダー: 高橋芳
ゆるゆる山行				グレード: 1A
月 日	令和5年1月22日(日) 日帰り 雨天及び波浪注意報発令の場合は1月28日(土) 実施予定			
山 域	三浦半島	日の出6:47 入り16:49	1/25000	三浦
目 的	関東大震災で隆起した海岸を訪ね、水仙の香りを楽しむ			
費 用	約3,000円	交通機関	JR・京急・バス	
行 程	我孫子5:53→品川6:43/57→京急久里浜→三浦海岸8:19/51(バス)→毘沙門天入り口9:16→浅間山→毘沙門湾→千畳敷→宮川湾→城ヶ島大橋→城ヶ島公園→安房埼→城ヶ島灯台→城ヶ島バス停→三崎口→品川→上野・我孫子 (歩行時間 3時間)			
個人装備	日帰りハイキング一式			
メ モ	海辺のハイキングです。波が高くと千畳敷は歩行不可となりますので天候に合わせます。大正の関東大震災で隆起した千畳敷の海岸を歩きます。割得切符、1dayパス・みさきまぐろ切符の購入は参加者と調べてから検討します。どなたでもご参加下さい。			

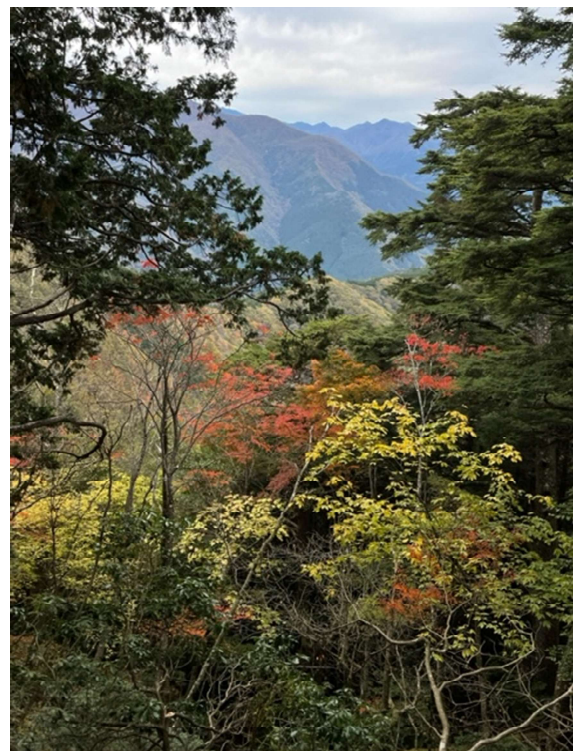
定例山行計画		北八ヶ岳 (縞枯山～麦草峠) (2403m～2120m)		リーダー: 村越
				グレード: 2B
月 日	2023年 2月5日(日)～ 6日(月)		1泊(小屋泊)	
山 域	八ヶ岳	地形図	1/25000	蓼科・横岳・縞枯山
目 的	雪の北八ヶ岳を歩く			
費 用	26,000円(ジパング使用)	交通機関	JR, バス、タクシー	
行 程	1日 目	我孫子5:31→日暮里6:01/6:10→新宿6:33/7:00(あずさ1号)→茅野9:07/タクシー→ピラタスロープウェイ→山頂駅11:00⇒五辻⇒分岐⇒大石峠⇒麦草ヒュッテ13:30⇒白駒池⇒5:30 麦草ヒュッテ(泊) (歩行時間 4時間00分)		
	2日 目	山小屋8:00⇒大石峠⇒茶臼山⇒展望台⇒縞枯山⇒天池分岐⇒山頂駅12:00→ピラタスロープウェイ駅→タクシー→温泉(入浴)バス→茅野駅16:59(JR特急あずさ28号)→新宿→我孫子20:05 (歩行時間 3時間30分)		
個人装備	一日目の弁当、行動食、雪山装備(ストック、アイゼン、サングラス、手袋等) 防寒具、(あれば)スノーシューor わかん			
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> ・雪山の入門編です。 ・天候によってはコースの日程を入れ替えます。強風が吹く場合はコースを変更して平面を歩きます。 			

定例山行報告

定例山行報告	妙法ヶ岳 (1320m) ～霧藻ヶ峰(1523m)		リーダー:新谷 グレード:1A
月 日	令和4年10月27日(木) 日帰り		
山 域	奥武蔵	地形図	1/25000
目 的	秋の樹林帯を歩く		
費 用	約4500円	交通機関	電車・バス
行 程	我孫子駅 5:42 → 日暮里 → 6:12 → 池袋 6:31/6:50 (特急) → 西武秩父 8:14/9:10 (バス) → 三峰神社 10:30/10:45 → 妙法ヶ岳 11:20/11:40 昼食 → 妙法ヶ岳と霧藻ヶ峰の分岐点 13:10 → 炭窯跡 → 13:45 霧藻ヶ峰 13/55 14:05 → 三峰神社バス停 15:20/15:30 (バス) 西武秩父 16:50/17:24 (特急) → 池袋 18:47 日暮里を経て我孫子着 19/44 歩行時間約4時間30分		
ル ー ト 状 況	登山口から始まる千年の森は良く手入れされた檜の森が続くが、途中ブナの森もあり紅葉が美しかった。妙法ヶ岳山頂と霧藻ヶ峰山頂からは、奥武蔵の山並みが一望できる。ここからの眺望では山々が錦の紅葉。 妙法ヶ岳から霧藻ヶ峰までの合流、山頂までの道が地図で見るより登坂だったため予定のバスに乗れるかどうか途中心配したがなんとか間に合った。		
参加者	新谷 (L) 千葉 (SL) 高橋芳 外崎 矢野朝 男性1名 女性4名		
メ モ	予定は25日だったが、お天気が悪かったので27日に変更。 そのため参加できなかった方が5名いて申し訳なかった。 今回漫遊クーポン(3月まで)を購入することで、西武鉄往復2880円のところ1590円。それに三峰神社までの片道950円が使用できるクーポンが付いていてかなりお得。それにあやかって西武鉄道は特急(710円)を使用して実に快適だった。		



紅葉が着物の柄のように



霧藻ヶ峰山頂からの眺望

山頂から霧藻ヶ峰から
雲取山への山並みを望む



妙法が岳山頂近くは
足場が築かれている



千年の杜を歩く



妙法が岳山頂は
三峯神社奥の院

自然保護活動 どんぐり散歩 7		リーダー:小野 グレード:1A	
月 日	令和4年11月10日(木) 日帰り		
山 域	柏市手賀の丘周辺	1/25000 取手	
目 的	身近な里山の自然観察をする		
費 用	0円	交通機関	車、自転車、徒歩
行 程	どんぐりの家集合9:00⇒里山歩き⇒昼食⇒どんぐりの家前 解散14:15		
ルート 状 況	問題なし。		
参加者	高橋芳恵 蟹江:記録 齊田 石塚:SL 佐藤明子 外崎 小山 中村育子 小林安代:写真 千葉有子:植物記録 田嶋 大賀 高橋重 小野L 男性1名 女性13名 計14名		
メ モ	晴天に恵まれ、ゆっくり観察できました。		



定例山行	立山 (雄山 3003m、浄土山 2831m)			L: 白崎 G: 2C
月 日	2022年11月17日(木)～19(土) 2泊3日			
山 域	北アルプス北部	地形図	立山	
目 的	新雪の立山を満喫する			
装 備	冬山登攀装備一式	交通機関	マイカー	
費 用	約40000円			
1日目	我孫子 5:00 → 柏 IC 5:20 → 常磐道/首都高/中央高速/長野道 → 安曇野 IC 9:00 → 扇沢 10:30 → 室堂 12:00(昼食) 12:30 → みくりが池 13:00 → 室堂山荘 13:30 ＜歩行時間 1時間＞			
2日目	室堂山荘 7:30 → 一ノ越 8:35(装備確認)/8:56 → 雄山 10:00(休憩)/10:30 → 一ノ越 11:30 → 浄土山(南峰) 13:00/13:15 → 浄土山(北峰) 13:20 → 浄土山登山口 13:50/14:00 → 室堂山荘 14:40 ＜歩行時間 6時間半＞			
3日目	室堂山荘 8:00 → みくりが池 8:20 → 雷鳥沢野営場 9:10/9:20 → 雷鳥沢付近 9:35 → 雷鳥沢野営場 9:45(雪上ロープワーク訓練)/10:50 → みくりが池 12:00 → 室堂山荘 12:10(昼食・パッキング) 13:10 → 室堂駅 13:20/13:45 → 扇沢 15:20/15:40 → 大町温泉(入浴) 16:00/16:40 → 安曇野 IC 17:35 → 長野道/上信越道/上越道/北関東道 桐生太田 IC 20:15 → 我孫子 22:20 ＜歩行時間 2時間半＞			
参加者	白崎(L・カメラ・やまなみ) 細谷(SL・記録) 2名(男2)			
<p>【ルート状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前日に新雪が35cmほど降ったあとで、現地に着いた17日午後の時点で天候は曇りであった。 室堂ターミナルで登山届を提出する際に留意事項を聞くと、雄山のトラバース道を通るならロープを出した方がいいと告げられた。とはいえ、支点は構築できないので、確保方法は「肩絡みで」と言われる。 山スキー客向けには、雪崩の危険があるので滑走しないようにと案内されていた。 雪はさらさらの粉雪でほとんど抵抗がなく、その雪質は翌18日も同様であった。 快晴に恵まれた18日、一ノ越まではノーアイゼンでいけるかと思ったが、一ノ越山荘手前の石畳状の登山道の一部(10mほど)が凍結していた(白崎はアイゼン未装着・細谷は装着)。 一ノ越から雄山に向かう稜線上は風速15m程度の風が吹いていた。そのルートは、雪と岩稜とときに氷の入り交じった稜線歩きとなり、吹きだまりの急斜面では5mほどトラバースする場面もあった。 三ノ越付近から上部は風で雪がかなり飛ばされていて、アイトレを思わせる岩稜帯歩きとなった。 雄山山頂付近は、風下側に吹きだまりができていたが、風が強かったため、その踏み跡は数分もすると消えてしまう状況であった。 雄山のトラバース道は、そうした吹きだまりの斜面を通過していくことになるが、雪質はさらさらのまま、アイゼンがあまり効きそうもなかった。→そのため、大汝山に向かうのを断念した。 雄山山頂から一ノ越に戻り、そこから浄土山に向かうも稜線上の風は一向に収まらず、ときにアラレ状の雪片に頬を叩かれた。 浄土山山頂までは、先行者の踏み跡ができてはすぐ消えてしまう状況であったものの、視界はよかったので、ルートを見失っても復帰することは容易であった。 浄土山からの下りの上部は、ゴロゴロとした岩稜にふわふわの雪が乗っている状態で、何気に雪を踏むとアイゼンが岩に引っかかって足を持っていかれることが多々あった。 				

【メモ】

- 当初の山行予定は 12 日からであったが、13 日の天候が悪そうであったため、17 日からに変更している（19 日以降の宿の空きを確認したら、常連さんのみ受け付けているとのこと）。
- 室堂山荘での宿泊は全国旅行支援の対象となっていて、40%オフで宿泊できた（ワクチン接種 3 回完了の証明と身分証明書が必要）。
- 山荘での朝食は、HP には 6 時からと記載されていたが、この時期は 6 時 30 分からに変更されていた。→そのため、18 日の朝の出発が 1 時間ほど遅れたことも、周回を難しくした。
- 18 日は雲ひとつない晴天に恵まれたため、風が強かったものの、この時期ならではの眺望を堪能でき、とても気持ちのいい時間を過ごせた。
- 19 日は雷鳥沢に降りて、劔御前小舎への冬道の確認しつつ、ロープワーク実習（トラバースにおけるスノーバーを利用するビレイ技術、バケツを掘ってのシッティングビレイ技術等）を行った。
- 室堂ターミナルでは、雪崩のリスクがあるのでスキーの滑走はできない旨案内されていたが、実際には滑っている人たちが少なからずいた。
- 雪山であっても単独の登山者がそれなりにいて、そのうちの半数ほどは女性であった。

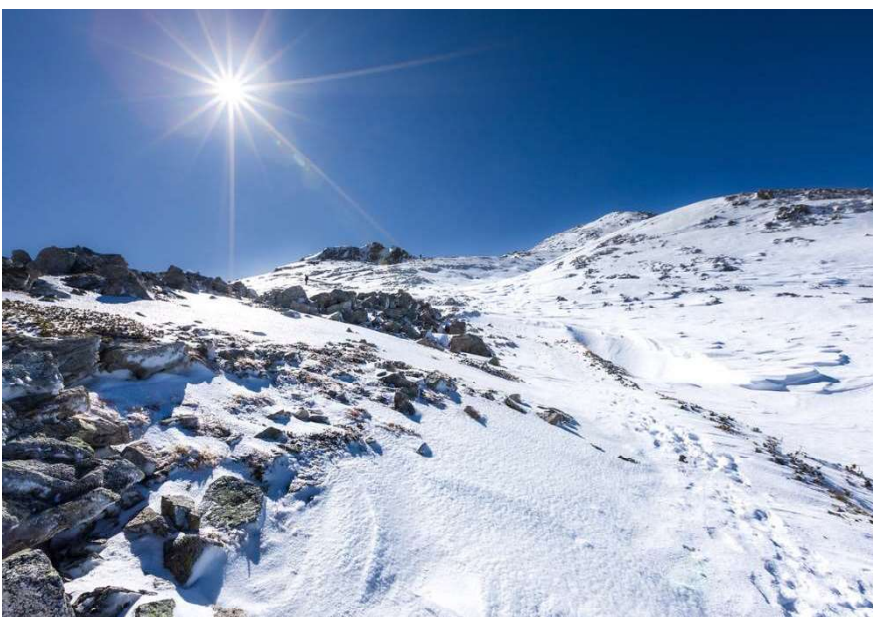


雄山への岩稜帯を登る。この辺りが最も急峻なところだが、緊張するほどのことはない。

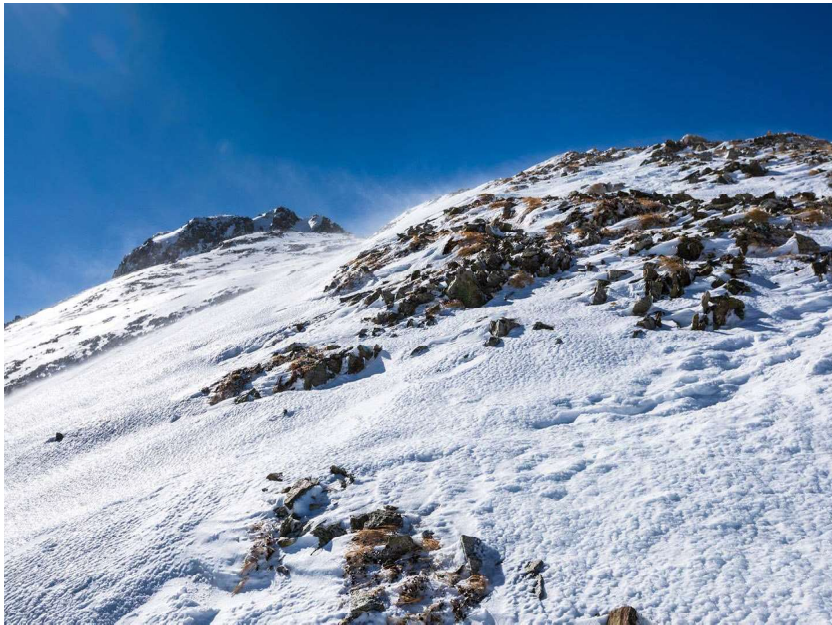


雄山の山頂を神社のしめ縄越しに。エビの尻尾がうろこ状になってしめ縄を覆っている。

雄山の山頂から北西方面を望む。雲一つない快晴下で劔岳も顔を覗かせている。大汝山方面への踏み跡が確認できるが、これも強風ですぐに消えてしまったに違いない。

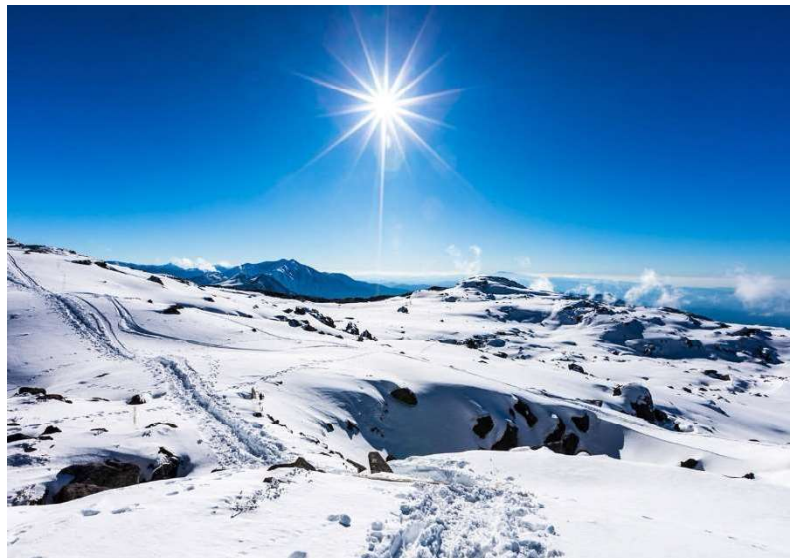


周回を断念したので、浄土山に向かう。逆光下の新雪はとても済んだキラメキに満ちていて、とても気持ちがいい。



稜線上の風は 15m/s ほど。巻き上げられ新雪はアラレ状の雪片となり、ときに顔や頬を襲ってくる。

浄土山を降りてきて、展望台方面への分岐を少し進むと、なんと長閑な雪景色が広がっている。いつまでも居続けたい空間だ。



最終日、雷鳥沢から室堂山荘に戻る途中にて。この日も天候に恵まれ、多くの登山者が雄山に向かっていた。

新人紹介コーナー

私と山

佐藤明子さん (2022年入会)

初めての登山は、中学生の頃に山形県の学校行事として月山に登ったことです。14歳の元服の年齢に合わせて2年生全員が月山登山をします。当時は月山ビジターセンターもなく、登山口も麓の志津から、周りが未だ暗いうちから歩き始めました。途中、夏スキーを初めて見ました。冬のスキーは雪国育ちの私には普通の遊びでしたが、色とりどりのセーターを着ての夏スキーは未知の世界を垣間見る思いで縁遠く、登山はしんどいものと思っただけで、感動も何もありませんでした。

結婚して、子供たちの養育に手が掛からなくなったころ、夫から大菩薩嶺への登山を誘われました。突然だったのでザックも靴もありませんでしたが、大菩薩嶺の名前に強く惹かれ。うきうきと登山用具をそろえて夫婦の初登山となりました。その時の感動から二人で方々の山に登るようになりました。北岳の登山口に到着し支度をしようとしたら登山靴を忘れてきたことに気付くなど悲しすぎる失敗も、言い尽くせない楽しみもたくさんありました。若さに任せて重いザックを背負い、テント泊りが主でしたが、激しい雷雨に近くの山小屋に逃げ込んだこともありました。



源次郎沢にて(2006年頃)

そんな中、岳人あびこの会員募集を市の広報で見つけました。当時は入会年齢制限が55歳で滑りこみの入会でした。会ではたくさんの知識を教えてくださいました。新鹿沼の岩山でのザイルワーク、富士山での雪訓、沢を登り詰めた後のハーネス解除の瞬間の達成感と開放感、仲間と囲んだキャンプファイヤー等々、夫婦だけでは到底知りえなかった山行で得た数々の知識と経験は今も私の登山を支えています。

これからは年齢と体力に応じたほどほどの山を楽しんでいきたいと思っています。そのためにも日々訓練に励んでいる今日この頃です。



福山智さん (2022 年入会)

苦行からの始まり

2017年秋、思いもよらぬ突然の入院。それまで30年以上継続してきたテニスを中断することとなりました。退院後の1年、以前のようなテニス好きに復帰しないメタボな夫を見かね、「山に登らない?」。この妻の誘いに「うん」という安易な承諾が、まったく無縁であった山と私の出会いのきっかけとなりました。

それからの、高尾山、御岳山、筑波山、金時山、鳴虫山、…等々、定番の低山での強制的な?リハビリ計画が開始されました。山頂に立つ達成感と爽快感はあれど、テニスボールを打つ気持ちよさ、ゲーム相手との駆け引きなどテニスの面白さとは対照的に、山は「ひたすら自分をいじめる苦行」と思い始めた頃、その思いをいっぺんさせてくれたのが、夏に登った燕岳でした。

燕岳の美しさ、雄大な北アルプスの展望、日の入り・日の出の美しさ、山小屋での生ビール等々、低山には無いさまざまな魅力を感じ、続ける決心をさせてくれた思い出の山となりました。それ以降、この山には毎年訪れています。

今思えば、リハビリ目的の低山苦行から夏の燕岳へ、この一連の企画は自分を山に引き込むための妻の策略だったような気がしますが、山の魅力を知り、リフレッシュ・健康維持、さらに、共通の趣味を持つことができたことに、今はとても感謝しています。

こうして、「山と私」の関係が始まったわけですが、その後、基礎から学ぼうとの思いに対し、残念なことに新型コロナ禍による行動制限がかかり、あまり山に登る機会も多くなり、現在に至っています。それでも行動制限緩和の期間に修行を継続しつつ、今年の夏には槍ヶ岳と奥穂高岳登頂に挑戦しました。

経験も浅く、技術面ではまだまだ未熟者です。山とのかかわりをさらに深め経験を積んで、あらたな山の魅力を発見・享受していきたいと考えています。

よろしくお願いたします。



この夏登った槍ヶ岳にて

運営委員会・山行部会議議事録

令和4年度 運営委員会(第9回) 議事録

令和4年11月15日(火)

1. 行事予定(令和4年12月～令和5年2月) (巻末に掲載)

2. 各部より

- 《会長》* 次年度まで残り3か月になりました。①総会の会場を予約するため会場を従来通りにするか ②この時期、県連に次年度の県連費、分担金の数を報告します。何名か決めたい ③市民登山を実行するか等々 汲み残していることを進めています。
* コロナが確実に増えてきています。会では行政の判断に従っていく方針です。
- 《副会長》* 先日、吾国山に行って、前回咲いていた場所に、せんぶりの花が咲いていたのを見ました。(佐藤)
* 先日、いつまでも長く山に登れている秘訣を外崎さんにお聞きしましたところ、コンスタントに続けているからとのことです。(継続は力なり)
- 《総務部》* 総会の会場の件は柏の会員が増えたので、近場で行うか意見を求めたが、予約を取るのが抽選で一日中借りるのは難しい。→年一度なので従来通り湖北近隣センターで行う。
* 県連に次年度の分担金を何名にするか? 昨年度は48名だったが、52名(男23,女29)に決定した。
- 《会計部》* 今年度の予算を整理するため、早めに領収書を提出して欲しい。
- 《装備部》* 特になし
《会報部》* 特になし
《県連》* 添付配信された資料(11月運営委員会の報告、10月理事会議事録、11/17理事会案内、労山県連講習会交流会管理表)の説明。

3. その他

12月定例集會 司會	本田さん	やまたん原稿 締切り	12月号	11月25日(金)吉川さん
			1月号	12月25日(日)中村育子さん

外崎、高橋芳、中村(八)、武内、大島、千葉、桐生、矢野貞、中村育、郷田、本田、村越、大山、新谷、大平、北田、石塚、藤家、小林隆、深草、小林安、蟹江、佐藤、森岡、白崎、田嶋、土田、松下、一氏 (運営委員29名)

1. 山行部より

今年も残り少なくなり、活動を振り返り来年度の山行計画を立てる時期になりました。今年はコロナに加えて天候不順のため、期初の山行計画に対して、10件以上の中止を余儀なくされています。来年度は再挑戦を含め、期待を込めて多くの楽しい計画作成をお願いします。また、来年度の山行に積極的に参加するために、これからの寒い季節でも、モチベーションを保って体力の維持、増進に努めてください。

また、厳しい冬山シーズンを迎えて、山行参加に際しては入念な計画と慎重な行動により安全第一で臨んでください。

北田 (山行部長)

2. 山行計画(12月～)

(巻末に掲載)

3. 教育研修

【机上研修】

日程	対象者	研修場所	研修内容	担当講師	資料等
12/6 (火)	会員	定例集会	レスキュー	外部講師 倉持	
12/6 (火)	新人	定例集会	事故発生時の緊急連絡の仕方	佐藤清	
1/10 (火)	会員	定例集会	登山エクササイズ	小林安	
1/10 (火)	新人	定例集会	テント生活の基本 (テントの設営、 撤収、ガスを使用して調理)	武内	

【実技研修】

日程	山名	対象者	研修内容	担当講師
12/25 (金) ~ 26 (土)	宝剣岳・木曾 駒ヶ岳	参加者	雪山登山	小林隆
2/5 (日) ~6 (月)	北八ヶ岳	参加者	雪の八ヶ岳を歩く	村越

4. 山行報告

山名	参加者数		山行NO 1231~	やまなみ	カメラ	ヒヤリハ ット	特記事項
	会員	一般					
浅草岳	15		1231	森岡・北 田	小林安・ 吉川	なし	紅葉が見ごろ

赤城山	9		1232	蟹江	小山	なし	なし
三峰～霧藻ヶ峰～ 白岩山	5		1233	新谷	矢野朝・ 新谷	なし	1日ずらして27日実施
どんぐり散歩7	13	1	自然保護 活動		小林安	なし	なし

5. 忘年山行の最終確認

コロナの第8波への対応が望まれる。レベル3に達すると、自治体・県レベルで大人数での会食が制限される可能性がある。とはいえ、43名の参加希望者があるので、感染予防に万全を期して実施したい旨、佐藤副会長から説明。全会一致で了承。

6. その他

・来期の山行希望票について

11月の定例会で説明したとおり、来期の山行希望票を12月のやまたんに掲載し、12月の定例会で記入済み山行希望票を回収する。次回山行部会では、その集計リストを配布予定。

※別紙2(最終ページ)「希望調査票」に「ご記入の上、12月6日(火)定例会にご持参ください。

・新リーダーの選出について

次回山行部会で新リーダーの選出を行う。推薦したい人材について検討しておいていただく旨を案内。

(参加者)

外崎 武内 高橋芳 大畠 矢野貞 中村育 郷田 本田 村越 新谷 室崎 大平 北田 石塚 藤家
小島洋 小林隆 深草 小林安 佐藤清 蟹江 森岡 白崎 田嶋 小島徹 小野 松下 矢野朝 土田
千葉 一氏 小山 細谷

(欠席) 北川 桐生 矢野裕 秋山

1. 山行計画(12月～令和5年2月 ※一部3月分も掲載)

日程	分	山名	山域	L(企画者)	G	備考(目的)
12/4(日)	定	古賀志山(行事山行)	前日光	佐藤清・蟹江	1A・1B	忘年山行【募集済み】
12/10(土)	準定	御岩山～高鈴山～助川山	日立	石塚	1A	ゆっくり紅葉を楽しむ【募集済み】
12/17(土)	定	明神ヶ岳	箱根	土田	2A	明神ヶ岳から金時山越しの富士を眺める
12/25(日)～26(月)	定	宝剣岳・木曾駒ヶ岳	中央アルプス	小林隆	2C	雪山登山
1/8(日)	定	手賀沼クリーンハイク	我孫子・柏	小野	1A	労山クリーンハイク活動
1/14(土)	定	伊予ヶ岳・富山	房総	小島徹	1B	ミニ鋭鋒と「八犬伝」ゆかりの名山
1/22(日)	準定	三浦海岸から城ヶ島へ	三浦半島	高橋芳	1A	関東大震災で隆起した海岸を訪ね、水仙の香りを楽しむ
1/28(土)～29(日) 予定	定	房総半島の山	房総		1A	県連ハイキング委【募集は1月】
2/5(日)～6(月)	定	北八ヶ岳	八ヶ岳	村越	2C	雪の北八ヶ岳
2	定	宝登山	秩父	本田(飯塚)	1A	蠟梅を見る
2	定					新人卒業山行
3/11(土)～12(日)	定(仮)	三岩岳	南会津	白崎	2C	雪洞(スノーマウント若しくはイグルー)泊の実践【募集は1月/来期の定例予定】

2. 行事予定

	月	日	行 事	場 所	備 考
当会	12月	6 (火)	定例会	我孫子北近隣センター 並木本館	19:00~20:50
		20(火)	運営委員会、山行部会	市民プラザ	19:00~20:50
	1月	10 (火)	定例会	我孫子北近隣センター 並木本館	19:00~20:50
		17 (火)	運営委員会、山行部会	市民プラザ	19:00~20:50
	2月	7 (火)	定例会	我孫子北近隣センター 並木本館	19:00~20:50
		19 (日)	入会説明会 拡大運営委員会、山行部会	市民プラザ	10:00~12:00 13:30~16:30
県連	12月	15 (木)	理事会	船橋市西部公民館	19:00~

※我孫子北近隣センター並木本館での集会には「スリッパ」を持参して下さい。